



脳卒中市民公開講座

去る令和7年10月26日(日)、弘前市のヒロコ市民文化交流館ホールにて、当院主催の脳卒中市民公開講座を開催しました。

本講座は、脳卒中発症の予防と、患者さま・ご家族の皆さまへの支援を目的として、2014年からほぼ毎年開催している一般市民向けのイベントです。今回は、医師、リハビリスタッフ、社会福祉士（医療相談員）の3名が多角的な視点から講演を行いました。講演後には、参加者からの質問に講師が直接お答えするパネルディスカッションや、お楽しみ抽選会も設け、参加された皆さまから多くのご好評をいただき、盛況のうちに閉会しました。当院は今後も、地域に根差した脳卒中専門病院として、医療情報の発信と地域貢献に努めてまいります。



会場内には、病院スタッフによる各種相談コーナーを設けました。

看護師、栄養士、リハビリスタッフ、社会福祉士といった専門職がそれぞれのブースに立ち、参加者の方々と直接、個別相談に応じており、こちらも大変ご好評をいただきました。

12月24日 クリスマス食事会

当院では入院患者の皆様に季節を感じて頂けるよう、年3回行事食の提供を行っています。今年の12月24日はクリスマス食事会を行いました。患者様に食事を楽しんでもらえるよう、いつもよりも手の込んだメニューで提供するため、厨房スタッフ総出で準備を行いました。佐々木内科部長の挨拶から食事会が始まり、病棟スタッフがサンタやトナカイの衣装を身にまとい、食事会を盛り上げてくれました。「ケーキが美味しかった」、「サンタが来てくれてうれしかった」と好評でした。

患者様に季節感じながら、喜んで頂ける給食を目指して、日々工夫を重ねていきたいと思います。



コンタクトレンズ装用中にMRI検査！これって大丈夫？

MRI検査で気を付けるべきこと

健康診断や診察のためにMRI検査を受けることがあります。コンタクトレンズを普段から装用されている方にとて、病院での診察のためにわざわざレンズをはずすのは少しわざわしいようにも感じてしまします。しかし、正しい検査結果を得るために、目のためには外しましょう。

・カラーコンタクトレンズは絶対にNG！

なぜなのでしょうか？その理由としてカラコンの着色に使われている酸化鉄や酸化チタンがMRIの強力な磁石に反応してレンズが熱を帯びて重大な事故を引き起こし、最悪の場合角膜や眼球に傷がついて重度な障害が残ってしまう恐れがあるためMRI検査の際には必ずカラコンをはずすようにしてください。

・クリアレンズなら良い？

では、着色部分のないクリアコンタクトレンズなら良いのか、と言えば一概にOKとは言えません。もし検査中に万が一はずれた際に探し出せないことやレンズと目との間に鉄粉などのゴミが入っていると熱を帯びる可能性があるため、MRI検査の際にはクリアレンズであってもはずしたほうが理想的であります。

・MRI検査時はメガネか使い捨てのクリアレンズで！

コンタクトレンズがMRI検査に向いていないことがお分かりいただけたと思います。MRI検査を受ける際にはコンタクトケースや使い捨てのレンズを持参したり、メガネで来院することをおすすめします。

化粧品や装飾は、MRI検査時に火傷などを引き起こす危険性があります。

検査当日はできるだけお化粧をせずに、装飾品なども着用しないようにお願い致します。

- カラーコンタクトレンズ
 - アイシャドウ、アイライン
 - つけまつげ
 - マスク
- UVケア用品（日焼け止めなど）
 - 金属イオン類を含んだ化粧品（制汗剤など）
 - ファンデーション
- ネイルアート
 - つけ爪
 - マニキュア
- エレキパン
 - カイロ各種
 - 貼付薬各種
- アクセサリー
 - 指輪
 - ピアス
- ヒートテック
 - 矯正下着



一般財団法人 黎明郷
弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
〒036-8104 青森県弘前市扇町1丁目2番地1
☎0172-28-8220
HP <https://reimeikyou.jp/hsc/>

関連施設・関連事業

- 介護老人保健施設つがる
- 青森県高次脳機能障害支援拠点機能
- 居宅介護支援事業所
- 訪問リハビリテーション事業所